

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 大
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 権田 和睦
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役（氏名） 黒澤 秀男 (TEL) 048-798-0222
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第1四半期	668	69.6	△70	—	△73	—	△85	—
24年3月期第1四半期	394	14.9	2	—	△2	—	△9	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.15	—
24年3月期第1四半期	△0.36	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
25年3月期第1四半期	1,803	126	7.0
24年3月期	1,790	206	11.5

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 126百万円 24年3月期 206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—				
25年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	1,250	8.5	48	7.3	37	10.5	30	22.3	1.11
通期	2,600	11.1	133	36.6	111	53.4	97	△9.9	3.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	27,152,585株	24年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	45,540株	24年3月期	45,540株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	27,107,045株	24年3月期1Q	27,107,492株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、ユーロ圏における財政不安の広域化と長期化、それに伴う不安定な為替動向や米国の景気停滞、中国を中心とした新興国の景気減速が懸念され、国内は復興需要等を背景とした緩やかな回復基調にはあるものの、デフレの長期化や厳しい雇用環境が継続しており、先行きは予断を許さない状況が続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界及び環境関連業界においては、一部に新機能フィルム成形機、大型多層ブロー成形機など新分野商品の市場展開はあるものの、長期化する円高の進行による景気の低迷に加え、自動車関連企業などが新興国への工場移転を加速させるなど、国内外とも全体的には厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況下、営業面では、最新の大型五層インフレーション成形機を受注することができましたが、前半期の売上に寄与する受注は減少しました。また、生産面では、海外生産の増加によるコスト低減の推進、生産性の向上に努めましたが、開発要素を多く含む大型成形機の利益率を向上させるまでには至りませんでした。また、設立50周年費用を計上したことなどから固定費も増加しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間においては、売上高は前期末から繰越された大型機の検収が当第1四半期になったことから、6億6千8百万円となり、前年同四半期と比べ2億7千4百万円増加（前年同四半期比69.6%増）いたしました。利益面につきましては、売上高は増加したものの、繰越された大型機の開発コストの増加や固定費の増加などにより損益が大幅に悪化したため、営業損失7千万円（前年同四半期営業利益2百万円）、経常損失7千3百万円（前年同四半期は経常損失2百万円）となりました。また、有価証券の評価損を計上したことから、四半期純損失8千5百万円（前年同四半期は四半期純損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて2.1%増加し、1,079百万円となりました。これは主に、現金及び預金が214百万円が増加し、受取手形及び売掛金が71百万円、たな卸資産が133百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.2%減少し、722百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減価償却などにより2百万円、投資有価証券が時価の下落により4百万円それぞれ減少したことなどによります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて43%減少し、1百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて0.7%増加し、1,803百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて5.6%増加し、1,082百万円となりました。これは主に、前受金が57百万円、短期借入金が38百万円それぞれ増加し、支払債務が44百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて6.3%増加し、593百万円となりました。これは主に、長期借入金50百万円増加し、退職給付引当金が15百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて5.9%増加し、1,676百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて38.6%減少し、126百万円となりました。これは主に、第1四半期純損失を85百万円計上したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第1四半期で成長が期待される市場に投入する商品の技術確立することができましたので、これらの技術を中心とした販売戦略を展開していく所存であります。

事業部門ごとの展開は次のとおりであります。

インフレーション成形機においては、貼合用あるいは産業資材用の多層フィルム成形における高性能と高品質を併せ持つ業界トップクラスの技術力を業界紙などの宣伝媒体を活用し、業界にアピールして行きます。

ブロー成形機においては、多層ブロー成形におけるイージーオペレーションのための自動化と成形製品の高品質化に関する技術の優位性について業界にアピールし、販売に結びつけることにいたします。また、平成22年に「埼玉県経営革新計画」として認定された環境のクリーン化と省エネルギーに貢献する電動ブロー成形機に関しては、第2世代商品の完成を急ぎ当後半期の売上高達成を目指します。

以上の販売戦略を基に売上高の増加を図り、損益面では生産コストの見直しをし、経費のさらなる削減を進めて、第2四半期累計期間の収益が回復できるよう、全社を挙げて取り組んでまいります。

また、第2四半期累計期間並びに通期予測については、当第1四半期の実績を踏まえて今後の業績への影響を見定めている最中であり、現時点では平成24年5月11日発表の「平成24年3月期決算短信（非連結）」における開示内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(原価差異の繰延処理)

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,929	355,636
受取手形及び売掛金	474,380	403,340
製品	133,283	135,036
仕掛品	272,437	130,473
原材料及び貯蔵品	17,365	23,655
その他	22,650	32,621
貸倒引当金	△4,690	△1,725
流動資産合計	1,056,356	1,079,037
固定資産		
有形固定資産		
土地	508,000	508,000
その他（純額）	141,299	138,346
有形固定資産合計	649,299	646,346
無形固定資産	9,890	9,206
投資その他の資産		
その他	88,390	85,056
貸倒引当金	△16,157	△17,694
投資その他の資産合計	72,232	67,361
固定資産合計	731,422	722,914
繰延資産	2,367	1,350
資産合計	1,790,146	1,803,302
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	561,701	516,784
短期借入金	204,448	243,444
前受金	188,397	245,480
未払法人税等	8,438	2,731
引当金	10,304	11,281
その他	51,792	63,059
流動負債合計	1,025,082	1,082,781
固定負債		
長期借入金	426,795	477,512
退職給付引当金	53,990	38,716
繰延税金負債	77,554	77,554
その他	429	—
固定負債合計	558,768	593,782
負債合計	1,583,850	1,676,563

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 332, 945	1, 332, 945
資本剰余金	131, 387	131, 387
利益剰余金	△1, 385, 010	△1, 470, 516
自己株式	△5, 178	△5, 178
株主資本合計	74, 143	△11, 361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9, 497	△3, 548
土地再評価差額金	141, 649	141, 649
評価・換算差額等合計	132, 151	138, 100
純資産合計	206, 295	126, 738
負債純資産合計	1, 790, 146	1, 803, 302

(2) 四半期損益計算書
第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	394,265	668,626
売上原価	267,328	594,288
売上総利益	126,936	74,337
販売費及び一般管理費	124,274	145,235
営業利益又は営業損失(△)	2,661	△70,898
営業外収益		
受取利息	539	383
物品売却益	484	438
その他	728	4,070
営業外収益合計	1,752	4,892
営業外費用		
支払利息	4,633	5,182
手形売却損	1,429	1,172
その他	1,169	1,016
営業外費用合計	7,232	7,372
経常損失(△)	△2,817	△73,377
特別利益		
その他	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5,516	10,694
特別損失合計	5,516	10,694
税引前四半期純損失(△)	△8,324	△84,071
法人税、住民税及び事業税	1,423	1,433
法人税等合計	1,423	1,433
四半期純損失(△)	△9,747	△85,505

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 1 四半期累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

II 当第 1 四半期累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第 1 四半期累計期間(自 平成23年 4 月1日 至 平成23年 6 月30日)

該当事項はありません。

当第 1 四半期累計期間(自 平成24年 4 月1日 至 平成24年 6 月30日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	326,804	20.2
ブロー成形機事業	241,985	478.5
リサイクル装置事業	9,120	280.0
合 計	577,909	82.8

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	479,645	31.2	726,151	23.9
ブロー成形機事業	111,872	△54.9	148,244	△47.3
リサイクル装置事業	43,420	△0.5	58,700	69.4
合 計	634,937	△3.4	933,095	3.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	339,664	30.7
ブロー成形機事業	238,190	482.6
リサイクル装置事業	5,740	△49.1
メンテナンス事業	85,032	3.5
合 計	668,626	69.6

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
昭光通商(株)	4,401	1.1	163,900	24.5

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。